令和７年版 治山林道必携 積算施工編 の訂正について（ご案内）

お客様におかれましては、当協会発行の書籍をご利用いただきありがとうございます。さて、令和７年８月に発行いたしました標記書籍につきましては、訂正を要する事項が判明しましたので、以下のとおり謹んでお知らせ致します。

皆様にはご不便をおかけしますことをお詫び申し上げます。

第１版　令和７年 10 月 30 日
第２版　令和７年 11 月 5 日
第３版　令和７年 12 月 5 日
第４版　令和７年 12 月 12 日
第５版　令和７年 12 月 18 日
第６版　令和８年 03 月 04 日
第７版　令和８年 11 月 02 日

【 上 巻 】

（訂正箇所）上巻　中表紙扉裏面のご案内の記述

（誤）治山林道必携（積算・施工編）令和７年版は、国が公表した令和７年４月１日以降適用する通知及び令和７年５月 31 日までに公表された正誤表等をもとに編集しています。

（正）治山林道必携（積算・施工編）令和７年版は、国が公表した令和７年４月１日以降適用する通知及び令和７年７月４日までに公表された正誤表等をもとに編集しています。

（訂正箇所）上巻　39 ページ　表 6-14　機械区分「オールケーシング掘削機（スキッド式）」の企画欄

（誤）　本体工事でクローラクレーン［油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型・基礎工事用・(2011 年規制)］100t 吊を使用する場合

（正）　本体工事でクローラクレーン［油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型・基礎工事用・(2014 年規制)］100t 吊を使用する場合

（訂正箇所）上巻　125 ページ　１行目

（誤）ケ　施工に必要な実日数の設定が困難な場合は、表９－２又は表９－３を工期設定の参考とすることができる。

（正）ケ　施工に必要な実日数の設定が困難な場合は、表 10－２又は表 10－３を工期設定の参考とすることができる。

（訂正箇所）上巻　233 ページ　6　ブルドーザ敷均し締固め作業の作業量の算定（築堤）　機械補助労務の表

（誤）

作　業	工　種	普通作業員
敷均し	築　堤 路　体	0.2
	路　床	0.3

（正）

作業区分	工　種	普通作業員
敷均し	築　堤	0.2

（訂正箇所）上巻　638 ページ　8-4-2　(4)ポンプ運転管理歩掛 2)運転歩掛の「ポンプ運転管理歩掛」表中の名称欄

（誤）　普通作業員

（正）　山林砂防工（普通作業員）

（訂正箇所）上巻　639 ページ　8-4-2　(6)単価表 2)ポンプ運転 1 日当たり単価表中の名称欄

（誤）　普通作業員

（正）　山林砂防工（普通作業員）

（訂正箇所）上巻　668 ページ　8-9　(6)単価表

（誤）　(6) 単価表

（正）　(5) 単価表

（訂正箇所）上巻　660 ページ　8 単価表　(1)仮囲い設置撤去（P タイプ）100 ㎡当たり単価表

（誤）　土木一般世話役の数量欄　1.1
　　普通作業員の数量欄　4.7

（正）　土木一般世話役の数量欄　1.2
　　普通作業員の数量欄　5.0

（訂正箇所）上巻　828 ページ（3）機械運転単価表

機械名・バックホウ（クローラ型）（掘削・積込・積込）の指定事項欄

（誤）　燃料消費量→58

（正）　燃料消費量→65

機械名・バックホウ（クローラ型）（片切掘削）の指定事項欄

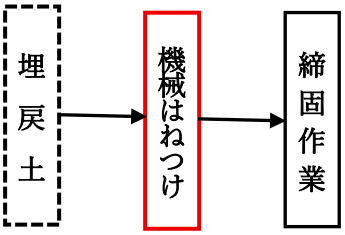
（誤）　燃料消費量→58

（正）　燃料消費量→65

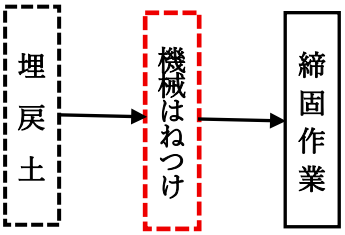
（訂正箇所）上巻　832 ページ　1－2－2　締固め（機械はねつけ後の締固作業）

2　施工概要の施工フロー図

（誤）



（正）



（訂正箇所）上巻　836 ページ　1－3－2　山地治山岩石工　(1)岩石掘削（機械）歩掛　の備考 3

（誤）

3　大型ブレーカのベースマシンはバックホウ（超低騒音型・排出ガス対策型（第 3 次基準値））油圧式クローラ型とし、1,300 kg級ブレーカについては 0.6 ㎥型、600～800 kg級ブレーカについては 0.35 ㎥型とする。

（正）

3　大型ブレーカのベースマシンは、1,300 kg級についてはバックホウ（超低騒音型・排出ガス対策型（第 3 次基準値）・クローラ型山積 0.8 ㎥（平積 0.6 ㎥））とし、600～800 kg級についてはバックホウ（後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（2014 年基準値）・クローラ型山積 0.45 ㎥（平積 0.35 ㎥））とする。

（訂正箇所）上巻　870 ページ　表 4．1 の脚注 3　2 行目

（誤）鉄筋カッタ、溶接棒、電力に関する～

（正）鉄筋カッタ及び電力に関する～

（訂正箇所）上巻　886 ページ　（5）ヘリコプター飛行経費　1）空輸費　の計算式

（誤）　空輸費(円)＝空輸距離(km)÷空輸速度(km/hr)×1 時間当たり空輸料金

（正）　空輸費(円)＝空輸距離(km)÷空輸速度(km/h)×1 時間当たり空輸料金

（訂正箇所）上巻　1036 ページ

（2）敷均し（機械）100 ㎡当たり単価表中　名称・振動ローラ運転の摘要欄

（誤）　表 4.8

（正）　表 4.8

必要時応じ計上

（訂正箇所）上巻　1037 ページ

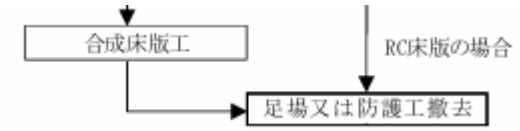
（5）機械運転単価表　の小型バックホウ（クローラ型）の指定事項欄

（誤）　運転時間＝5.7hr/日

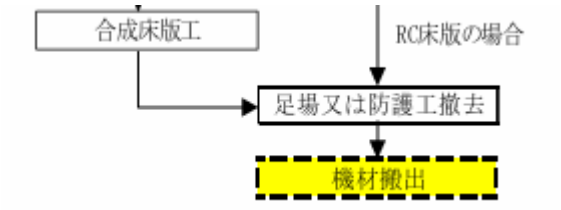
（正）　運転時間＝5.7h/日

（訂正箇所）上巻　1117 ページ　3-4 鋼橋架設工（2）施工概要の図の下端

（誤）



（正）



（訂正箇所）上巻　1152 ページ

（13）架設用機械設備及び工具の供用日数　表「設備及び工具の供用日数」

（誤）

設備機械工具名	工　法　別	供用日数(移動式クレーンは運転日数)	
移動式クレーン	移動式クレーン	架設用	（A又はA＋B）（×1.4）
		合成床版用	J（×1.4）
		作業用	（C＋D＋I）
	移動式クレーンによるステージング	架設用	（A又はA＋B）（×1.4）
		合成床版用	J（×1.4）
		作業用	（C＋D＋E＋I）
	ケーブルクレーン	〃	（F＋I）
	ケーブルクレーンによるステージング	〃	（F＋I）
	ケーブルエレクション	〃	（G＋I）

（正）

設備機械工具名	工　法　別	供用日数(移動式クレーンは運転日数)	
移動式クレーン	移動式クレーン	架設用	（A又はA＋B）（×1.4）
		合成床版用	J（×1.4）
		作業用	（C＋D＋I）
	移動式クレーンによるステージング	架設用	（A又はA＋B）（×1.4）
		合成床版用	J（×1.4）
		作業用	（C＋D＋E＋I）
	ケーブルクレーン	補　助	（F＋I）
	ケーブルクレーンによるステージング	〃	（F＋I）
	ケーブルエレクション	〃	（G＋I）

（訂正箇所）上巻　1152 ページ

（13）架設用機械設備及び工具の供用日数　表「設備及び工具の供用日数」の備考欄

（誤）

1　（略）

2　移動式クレーン工法で地組のある場合は、架設用クレーンの運転日数をＡ＋Ｂとする。

3　移動式クレーン工法で 80t 吊以上の架設用クレーンを使用する場合は、（ ）内の係数を乗じる。

4・5　（略）

6　発動発電機の燃料、油脂類については架設等諸雑費に含まれるため、賃料のみ計上する。

7・8　（略）

9　高力ボルトを使用する場合は、締付けトルクを自動的に記録する必要があれば高力ボルト締付け自動記録計を計上するものとする。

10 ベント基礎に鋼板を用いる場合は、作業用クレーンの運転日数に基礎に係る運転日数も計上するものとする。

（正）

1　（略）

2　作業種別が、移動式クレーン、移動式クレーンによるステージングで地組のある場合は、架設用クレーンの運転日数をＡ＋Ｂとする。

3　作業種別が、移動式クレーン、移動式クレーンによるステージングで架設用クレーン又は合成床版用クレーンが 80t 吊以上の場合は、運転日数に（ ）内の係数を乗じる。

4・5　（略）

6　発動発電機の燃料、油脂類については架設等諸雑費に含まれる。

7・8　（略）

9　ベント基礎に鋼板を用いる場合は、作業用クレーンの運転日数に基礎に係る運転日数も計上するものとする。

（訂正箇所）上巻　1217 ページ　（2）機械運転単価表　のタイヤローラの規格欄　下端

（誤）　運転質量 8～20ｔ

（正）　運転質量 13～14ｔ

（訂正箇所）上巻　1241 ページ　表 3.5 の脚注 4

（誤）　4　炭素繊維シートの数量は、積上げにより算出するものとし、ロス率は全面貼り＋0.07、格子貼り＋0.05 とする。

（正）　4　炭素繊維シートの数量は、積上げにより算出するものとし、ロス率は格子貼り＋0.05 とする。

(訂正箇所) 上巻　1246 ページ　7 単価表　(3)不陸整正工 100 ㎡当たり単価表の脚注

(誤)　（　）書きは格子貼りの場合

(正)　　削除

(訂正箇所) 上巻　1247 ページ　7 単価表　(4)炭素繊維シート接着工 100 ㎡当たり単価表の脚注

(誤)　（　）書きは格子貼りの場合

(正)　　削除

(訂正箇所) 上巻　1266 ページ　第 4 編 作業日当たり標準作業量 工種名・土工　設定内容⑨

(誤)　⑨　人力による築立（土羽）整形

(正)　⑨　人力による切土整形

(訂正箇所) 上巻　1267 ページ　第 4 編 作業日当たり標準作業量 工種名・土工　設定内容⑭

(誤)　⑭　骨材再生工（自走式）

作業名	作業日当たり 標準作業量
設置	0.29 日／回
撤去	0.29 日／回

(正)　⑭　骨材再生工（自走式）　自走式破砕機設置・撤去

作業名	作業日当たり 標準作業量
設置又は撤去	3.4 回／日
設置・撤去	1.7 回／日

（訂正箇所）上巻　1281 ページ　第４編 作業日当たり標準作業量 工種名・共通工（1）（法面工等）
設定内容 ㉑コンクリート吹付工の吹付厚 20cm における作業日当たり標準作業量の単位

（誤）　m^3

（正）　m^2

（訂正箇所）上巻　1286 ページ　第４編 作業日当たり標準作業量 工種名・共通工（2）（土留工・擁壁工等）　設定内容 ⑪「基礎・裏込・中詰（砕石・栗石）工（人力施工）　裏込（人力施工）」の「築立て・敷並べ（栗石・割栗石）」の作業量欄

（誤）　1.8 ㎥／日

（正）　1.6 ㎥／日

（訂正箇所）上巻　1287 ページ　第４編 作業日当たり標準作業量 工種名・共通工（2）（土留工・擁壁工等）　設定内容 ⑫「基礎・裏込・中詰（砕石・栗石）工（人力施工）　中詰（人力施工）」の作業名欄

（誤）　基礎

（正）　中詰

（訂正箇所）上巻　1288 ページ　第４編 作業日当たり標準作業量 工種名・共通工（2）（土留工・擁壁工等）　設定内容 ㉓「落石防止網（ロックネット）設置工　簡易ケーブルクレーン(1.0t 吊)設置・撤去

（誤）

作業名	作業日当たり標準作業量	
簡易ケーブルクレーン（1.0ｔ吊）設置・撤去	とび工１人・山林砂防工１人編成の場合	とび工 10 人・山林砂防工 10 人編成の場合
	0.05 基/日	0.5m3/日

（正）

作業名	作業日当たり標準作業量
簡易ケーブルクレーン（1.0ｔ吊）設置・撤去	0.5 基/日

（訂正箇所）上巻　1291 ページ　第４編 作業日当たり標準作業量 工種名・共通工 (2)（土留工・擁壁工等） 設定内容 ㊲「井桁ブロック土留工　現場打基礎コンクリート打設工

（誤）

作業名	作業日当たり標準作業量 井桁ブロック控長（m）		
	0.7 以上 1.3 未満	1.3 以上 2.0 未満	2.0 以上 3.0 未満
現場打基礎コンクリート打設工（人力打設）	31m2/日	3m2/日	4m2/日

（正）

作業名	作業日当たり標準作業量 井桁ブロック控長（m）		
	0.7 以上 1.3 未満	1.3 以上 2.0 未満	2.0 以上 3.0 未満
現場打基礎コンクリート打設工（人力打設）	3m3/日	3m3/日	4m3/日

（訂正箇所）上巻　1291 ページ　第４編 作業日当たり標準作業量 工種名・共通工 (2)（土留工・擁壁工等） 設定内容 ㊳のタイトル

（誤）　㊳井桁ブロック土留工　現場打基礎コンクリート打設工

（正）　㊳井桁ブロック土留工　圧送管組立・撤去工

（訂正箇所）上巻　1292 ページ　第４編 作業日当たり標準作業量 工種名・共通工 (2)（土留工・擁壁工等） 設定内容 ㊹かご工(B)　機械中詰　の「長さ」欄の単位

（誤）　(cm)

（正）　(m)

（訂正箇所）上巻　1292 ページ　第４編 作業日当たり標準作業量 工種名・共通工 (2)（土留工・擁壁工等） 設定内容 ㊺かご工(B)　人力中詰　の「長さ」欄の単位

（誤）　(cm)

（正）　(m)

（訂正箇所）上巻　1292 ページ　第４編 作業日当たり標準作業量 工種名・共通工 (2)（土留工・擁壁工等） 設定内容 ㊺かご工(B)　人力中詰　の網目 13 ㎝、高さ 60 ㎝、幅 120 ㎝、長さ 2mの作業日当たり標準作業量欄

（誤）　2.4 枚／日

（正）　2.1 枚／日

（訂正箇所）上巻　1293 ページ　第 4 編 作業日当たり標準作業量 工種名・共通工 (2)（土留工・擁壁工等） 設定内容 ㊻　かご枠工

（修正内容）　「長さ(㎝)」の項目名を「材料」へ修正

（訂正箇所）上巻　1294 ページ　第 4 編 作業日当たり標準作業量 工種名・共通工 (2)（土留工・擁壁工等） 設定内容　「㊸ 目地・止水板設置工　目地板設置」の「作業日当たり標準作業量」欄

（誤）　7.6 ㎡／日

（正）　9 ㎡／日

（訂正箇所）上巻　1531 ページ及び 1532 ページの表 3.11 暗渠排水管　積算条件区分一覧の作業区分には据付、撤去、据付・撤去の 3 区分がありますが、それぞれの波状管における次の呼び径欄に修正が必要です。

（誤）　100～1,000mm　→（正）　700～1,000mm

（誤）　1,000～1,500mm　→（正）　1,100～1,500mm

（訂正箇所）上巻　1533 ページの表 3.12 暗渠排水管　代表機労材規格一覧の項目 K1、R3、R 4 の備考欄（3 か所）

（誤）　管種別が波状管、呼び径が 700～1,500 の場合

（正）　管種別が波状管、呼び径が 700～1,500mm の場合

（訂正箇所）上巻　1533 ページの表 3.12 暗渠排水管　代表機労材規格一覧の項目 Z1 の代表機労材規格欄

（誤）　暗渠排水管　波状管　呼び径 1,000mm　高密度ポリエチレン管（ダブル構造）

（正）　暗渠排水管　波状管　呼び径 1,200mm　高密度ポリエチレン管（ダブル構造）

（訂正箇所）上巻　1590 ページ　表 3.4　機械・K1 の代表機労材規格欄

（誤）　バックホウ（クローラ型）［標準型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）］山積 0.8m3（平積 0.6m3）

（正）　バックホウ（クローラ型）［標準型・排出ガス対策型（第 3 次基準値）］山積 0.8m3（平積 0.6m3）

（訂正箇所）上巻　1645 ページの表 3.16 消波根固めブロック据付け　代表機労材規格一覧の項目 R1～R3

（誤）

R１	土木一般世話役	
R２	特殊作業員	
R３	普通作業員	

（正）

R１	普通作業員	
R２	土木一般世話役	据付場所が「陸上」の場合
	潜水士	据付場所が「水中」の場合
R３	特殊作業員	据付場所が「陸上」の場合
	潜水連絡員	据付場所が「水中」の場合

【　下　巻　】

（訂正箇所）下巻　11 ページから 17 ページまでの「別表第２　建設機械損料算定表　目次」及び「さくいん」全ページ

該当ページが「令和６年版　治山林道必携（積算・施工編）」から更新されずに掲載されてしまいました。正しい内容は正誤表別紙１をご覧ください。

（訂正箇所）下巻　785 ページ及び 786 ページの森林整備保全事業工事標準仕様書目次の第２編第２章工事材料以降の項目各ページについてページずれが確認されました。表示ページより４を減じた数字が正しいページとなります。

正しい内容は正誤表別紙２をご覧ください。

（訂正箇所）下巻　1493 ページ　品質管理基準及び規格値表　1 セメント・コンクリート（覆工コンクリート・吹付けコンクリートを除く。）、製造（プラント）のミキサの練混ぜ性能試験、「連続ミキサの場合：土木学会規準 JSCE-I 502-2013 の試験基準欄」

（誤）　工事開始前及び工事中**１回／年以上**

（正）　工事開始前及び工事中**１回以上／12 か月**

（訂正箇所）下巻　1606 ページ　国有林野事業工事請負契約約款第 30 条第 4 項

（誤）　発注者は、前項の規定により受注者から損害による費用の負担の請求があったときは、当該損害の額（工事目的物等であって第 13 条第２項、第 14 条第１項若しくは第２項又は第 38 条第３項の規定による検査、立会いその他受注者の工事に関する記録等により確認することができるものに係る**額に限る**。）及び当該損害の取片付けに要する費用の額の合計額（**第６項**において「損害合計額」という。）のうち請負代金額の 100 分の１を超える額を負担しなければならない。

（正）　発注者は、前項の規定により受注者から損害による費用の負担の請求があったときは、当該損害の額（工事目的物等であって第 13 条第２項、第 14 条第１項若しくは第２項又は第 38 条第３項の規定による検査、立会いその他受注者の工事に関する記録等により確認することができるものに係る**損害の額に限る**。）及び当該損害の取片付けに要する費用の額の合計額（**以下この条**において「損害合計額」という。）のうち請負代金額の 100 分の１を超える額を負担しなければならない。**ただし、災害応急対策又は災害復旧に関する工事における損害については、発注者が損害合計額を負担するものとする。**

（訂正箇所）下巻　1946 ページ　(7)機械運転単価表

（誤）

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ（クローラ型）	標準型・排出ガス対策型（第２次基準値）山積 0.28 ㎥（平積 0.2 ㎥）	7 単価表（8）	運転労務数量→1.00 燃料消費量→40 機械損料数量→1.59
〃	標準型・排出ガス対策型（第２次基準値）山積 0.13 ㎥（平積 0.1 ㎥）	〃	運転労務数量→1.00 燃料消費量→24 機械損料数量→1.33
〃	後方超小旋回型・排出ガス対策型（第２次基準値）山積 0.28 ㎥（平積 0.2 ㎥）	〃	運転労務数量→1.00 燃料消費量→40 機械損料数量→1.59

（正）

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ（クローラ型）	標準型・排出ガス対策型（第２次基準値）山積 0.28 ㎥（平積 0.2 ㎥）	7 単価表（8）	運転労務数量→1.00 燃料消費量→37 機械損料数量→1.59
〃	標準型・排出ガス対策型（第２次基準値）山積 0.13 ㎥（平積 0.1 ㎥）	〃	運転労務数量→1.00 燃料消費量→23 機械損料数量→1.33
〃	後方超小旋回型・排出ガス対策型（第２次基準値）山積 0.28 ㎥（平積 0.2 ㎥）	〃	運転労務数量→1.00 燃料消費量→37 機械損料数量→1.59

以上

別表第２　建設機械損料算定表

目次

01　ブルドーザ及びスクレーパ…… 18
02　掘削及び積込機…… 26
03　運搬機械…… 62
04　クレーンその他の荷役機械…… 70
05　基礎工事用機械…… 92
06　せん孔機械及びトンネル工事用機械……146
07　モータグレーダ及び路盤用機械……174
08　締固め機械……178
09　コンクリート機械……190
10　舗装機械……196
11　道路維持用機械……208
12　空気圧縮機及び送風機（原動機を含む。）……222
13　建設用ポンプ（原動機を含む。）……230
15　電気機器……240
16　ウインチ類……252
17　試験測定機器……258
18　鋼橋・ＰＣ橋架設用仮設備機器……266
20　その他の機器……304
船舶損料算定表……334

さ　く　い　ん

＜ア＞

アースオーガ（単体）……96
アースドリル……106
ＲＩ水分密度計……262
アジテータカー……192
アジテータトラック（トラックミキサ）192
アスファルトカーバ……206
アスファルトクッカ……202
アスファルトケットル……200
アスファルトスプレヤ……206
アスファルトフィニッシャ……196
アスファルトプラント……196
アルカリ水中和装置……142
安全設備・救急設備……124
アンリーラ（油圧式）……282

＜イ＞

移動式スクリーン……320
インナバイブレータ……204
インパクトクラッシャ……308

＜ウ＞

ウインチ……254、270

＜エ＞

エアタンパ……186
遠心ファン……226

＜オ＞

大型移動支保工（ＰＣ橋用）……290
大型ブレーカ（ベースマシン含まず。）…150
大型ブレーカ（ベースマシン含む。）……150
送出し装置（鋼橋用）……282
送出しローラ……280
押航土運船……350
押出し手延桁（ＰＣ橋用）……288
押　　船……346
汚濁防止枠……332、356
汚泥吸排車……142

＜カ＞

ガードレール支柱打込機……216
ガードレール清掃車……210
ガス検知器……260
架 設 桁……266
片持架設用移動作業車（ＰＣ橋用）…288
滑　　車……298
カッタヘッド駆動モータ……164
ガット船……348
ガットバージ……348
仮 受 梁……292
刈草梱包機械……316
仮締めボルト……294

＜キ＞

起重機船……338
艤装設備……116
ギヤードトロリ……270
キュアリングマシン……206
キュービクル式高圧受変電設備……244
急結剤供給装置……162、310
業務用可搬型ヒータ（ジェットヒータ）324

＜ク＞

杭打船 …… 342
杭打ち用ウォータジェット……96
杭抜き機 …… 144
杭破砕機 …… 144
空気圧縮機 …… 222
空気圧送船 …… 338
区画線消去機 …… 214
草 刈 機 …… 314
草刈梱包機械 …… 316
掘削・排土設備 …… 118
グラウト注入機 …… 302
グラウトポンプ …… 138
グラウトミキサ …… 138、302
グラウト流量・圧力測定装置 …… 258
グラウト流量計（ＰＣ橋用） …… 302
グラブ浚渫船 …… 334、336
グラブホッパ …… 166
グラブリフタ …… 166
クレーン付台船 …… 340
クローラクレーン……70
クローラ式アースオーガ …… 102
クローラ式杭打機 …… 100
クローラ式杭打機（ベースマシン）……98
クローラ式サンドパイル打機 …… 136
クローラドリル …… 150
クローラローダ……54

＜ケ＞

計 量 器 …… 258
ケーシングパイプ …… 356
ケーソン製作用台船 …… 342
ケーブルクレーン……86、280
桁吊り門構（ＰＣ橋用） …… 284
桁吊り金具（ＰＣ橋用） …… 286
桁吊り門構移動装置（ＰＣ橋用） …… 286

＜コ＞

構造物作業船 …… 360
高圧気中開閉器(柱上用・手動操作型) 244
高圧洗浄機 …… 324
高圧噴射撹拌式地盤改良機 …… 134
降下装置（ジャッキングホイスト） … 284
工 具 …… 294
高視認性区画線施工機 …… 214
高所作業車……90
工事用エレベータ……86
工事用水中モータポンプ……236
工事用信号機 …… 324
工事用リフト……86
交 通 船 …… 348
高分子凝集剤溶解槽 …… 166
港湾工事用付属機器 …… 358
小型渦巻ポンプ …… 230
小型多段遠心ポンプ（タービンポンプ）
…… 232
小型バックホウ（クローラ型）……26
骨材計量器 …… 304
コンクリートカッタ …… 218
コンクリート簡易仕上機 …… 204
コンクリートスプレッダ …… 202
コンクリート穿孔機 …… 310
コンクリート静的破壊装置 …… 312
コンクリート床仕上ロボット …… 314
コンクリートバイブレータ …… 306
コンクリートバケット …… 306
コンクリートフィニッシャ …… 202
コンクリート吹付機 …… 158、310
コンクリートプラント …… 190
コンクリートプレーサ …… 192
コンクリート壁面カッタ …… 312

コンクリートポンプ …… 194
コンクリートポンプ車 …… 192
コンクリートミキサ …… 304
コンクリートミキサー船 …… 342
コンクリート横取機 …… 204
コンクリートレベラ …… 204

＜サ＞

作業船用付属品 …… 352
さく岩機 …… 148
散 水 車 …… 210
サンドコンパクション船 …… 344

＜シ＞

ＣＢＲ試験器（現場用） …… 258
シールドジャッキ …… 162
シールドマシン用機器 …… 162
軸流ファン …… 226
自航起重機船 …… 338
自己昇降式台船 …… 344
自走式土質改良機 …… 320
自走式木材破砕機 …… 320
自走式破砕機 …… 318
自走台車 …… 278
自動測量機器 …… 262
ジブクレーン……84
支保工建込エレクタ …… 160
シャトルカー …… 172
ジャーナルジャッキ …… 274
自由断面トンネル掘削機 …… 154
種子吹付機 …… 318
集 草 機 …… 316
集中方式押出し工法用機器（ＰＣ橋用） 288
重量台車 …… 274
ジョイントシーラ …… 212
ジョークラッシャ …… 308
真空ポンプ …… 238
深層混合処理機（スラリー式） …… 130
深層混合処理船 …… 344
深礎用ロータリ吹付機 …… 144
振動コンパクタ …… 186
振動目地切機 …… 204
振動ローラ …… 180、184

＜ス＞

水槽（一般工事用） …… 322
水中切断機 …… 144
スクレープドーザ……24
スタビライザ …… 174
スチールフォーム …… 204
スパット台船 …… 352
スラリポンプ …… 164、238
ズリ鋼車 …… 172
ズリ積機 …… 156
ズリ積込・運搬機 …… 158
スリップフォームペーバ …… 206

＜セ＞

整流器（直流溶接機） …… 292
全自動モルタルプラント …… 140
センターホールジャッキ …… 274
全回転型オールケーシング掘削機 …… 112
潜水土船 …… 348
石 運 船 …… 348

＜ソ＞

ソイルミキシングプラント …… 176
騒音・振動計測機器 …… 260
送気設備 …… 122
送 風 機 …… 226、298
側壁測定装置 …… 130
側溝清掃車 …… 210

その他作業用付属品 …… 364
その他試験測定機器 …… 264
その他NATM用機器 …… 160
その他バックホウ……52

＜タ＞

ターンテーブル …… 324
台　　船 …… 350
タイヤローラ …… 178
台車式ＰＣ桁横取り装置（ＰＣ橋用）… 292
ダウンザホールハンマ …… 148
濁水処理装置 …… 168
濁　度　計 …… 262
多軸式特殊台車 …… 278
多軸式特殊台車用ターンテーブル …… 278
玉掛けワイヤ …… 300
タワークレーン……80
タンパ及びランマ …… 186
ダンプトラック……62
ダンプトラック（トンネル工事用）… 158

＜チ＞

チェーンブロック …… 256、268
チェンソー …… 316
チェーンレバーホイスト［レバーブロック］
…… 294
地下連続壁施工機 …… 126
チップスプレッダ …… 202
地覆高欄作業車（ＰＣ橋用） …… 292
中小型トラック（ダブルキャブ） …… 314
中層混合処理機（トレンチャ式） …… 136
超音波探傷装置 …… 262
超軟弱地盤用混合機 …… 176
沈下・傾斜測定機器 …… 260

＜テ＞

泥上掘削機……54
泥排水処理装置 …… 140
泥水式シールド関連機器 …… 164
ディストリビュータ …… 200
手延機（鋼橋用） …… 284
手延先端油圧ジャッキ（ＰＣ橋用） … 288
電気式集塵機 …… 160
電気溶接機 …… 292、328
電線（ケーブル） …… 300
電動ドリル …… 332
電動ハンマドリル …… 332
電動ホイスト …… 252、266

＜ト＞

等厚式ソイルセメント地中連続壁施工機
…… 130
土 運 船 …… 348
トータルステーション …… 262
床版上面増厚機 …… 218
床版撤去用ジャッキ設備 …… 302
土砂搬出・積込装置 …… 166
トラクタ …… 318
トラクタ用アタッチメント …… 318
トラック……64
トラック（トンネル工事用） …… 158
トラッククレーン……76
トラック式アースオーガ …… 332
トラックスケール …… 258
トラグライン及びクラムシェル……52
トラベラクレーン（全旋回型・鋼橋用）284
ドリフトピン …… 294
ドリルジャンボ …… 152
トレーラ……64
トンネル清掃車 …… 210

トンネル断面測定器 …… 160

＜ナ＞

ＮＡＴＭ用機械 …… 150

＜ニ＞

二組桁用桁吊り装置（ＰＣ橋用） …… 286
二組桁横取り装置（ＰＣ橋用） …… 288
ニューマチックケーソン施工機器 …… 116
乳剤スタビライザ …… 216

＜ネ＞

粘土溶解槽 …… 166

＜ハ＞

バージアンローダ船 …… 336
排水管清掃車 …… 210
排水性舗装機能回復機 …… 218
バイブレータ用電源装置 …… 308
バイブロハンマ（単体） ……92
パッカー車 …… 324
バッテリ機関車 …… 170
バックホウ……36、154
バックホウ浚渫船 …… 336
バックホウ用アタッチメント……60
発動発電機 …… 246
パワーユニット …… 164
ハンドミキサ …… 302

＜ヒ＞

被けん引式スクレーパ……24
引　　船 …… 346

＜フ＞

フィルタ式集塵機 …… 160
フォークリフト……88
フォームドスタビライザ …… 216
深井戸用水中モータポンプ …… 234
吹 付 機 …… 162
吹付ロボット …… 162
不整地運搬車……66
フラックス回収器 …… 292
ブルドーザ……18
プレーサスプレッタ …… 206
プレファブリケイティッドバーチカル
　　ドレーン打機 …… 136
フロート（組立式） …… 326
粉 塵 計 …… 262
粉体噴射撹拌機 …… 134
分散方式押出し工法機器（ＰＣ橋用） 290
付属作業船 …… 344

＜ヘ＞

併設加熱型リサイクルプラント …… 196
平板載荷試験装置 …… 258
ベルトコンベヤ …… 168
ベルトコンベヤ（ポータブル） …… 322
ヘリウム混合ガス設備 …… 124
変圧器（トランス） …… 240
ベ ン ト …… 266
ベントナイトミキサ …… 322

＜ホ＞

ホイールクレーン……80
ホイールローダ……54、156
ボーリングポンプ（水ポンプ） …… 172
ボーリングマシン …… 146
ポンプ浚渫船 …… 334

＜マ＞

マイクロサーフェースマシン …… 218
マイクロバス …… 314
マイクロポンプ船 …… 336
巻 上 機 …… 270

＜モ＞

モータウインチ …… 256
モータグレーダ …… 174
モルタルコンクリート吹付機 …… 310
モルタルプラント …… 140
門型クレーン …… 266
モンケン（単体）……92

＜ヤ＞

薬剤散布機 …… 318
薬液注入施工機器 …… 140
やぐら装置 …… 332

＜ユ＞

油圧式杭圧入引抜機 …… 110
油圧式鋼管圧入引抜機 …… 108
油圧式トンネル切削機
（ベースマシン含まず） …… 156
油圧ジャッキ …… 272、330
油圧ジャッキ送り台 …… 274
油圧昇降ジャッキ本体(ユニットジャッキ)
…… 278
油圧昇降ジャッキ・ポンプユニット … 278
油圧転倒装置 …… 172
油圧ポンプ …… 274、284
油圧ハンマ（単体）……92

＜ヨ＞

溶解槽（ニーダ） …… 212
溶接裏当材取付治具 …… 294
溶接棒乾燥器 …… 294、330
揚 錨 船 …… 344
横取り装置 …… 282、284、288

＜ラ＞

ライトバン …… 314
ラインマーカ …… 212
ラフテレーンクレーン……76
ラフテレーンクレーン装着式アースオーガ
…… 108
ランマ …… 186

＜リ＞

リクレーマ船 …… 336
リバースサーキュレーションドリル … 114

＜レ＞

レール設備 …… 300、326

＜ロ＞

ロードローラ …… 178
路面安全溝切削機(グルービング機械) 216
路面清掃車 …… 208
路面切削機 …… 214
路面平坦性試験装置 …… 262
路面横断形状測定装置 …… 264
路面ヒータ …… 212
路面ヒータ（路上表層再生用） …… 216

＜ワ＞

ワイヤ式レバーホイスト[チルホール] 294
ワイヤーロープ …… 298

森林整備保全事業工事標準仕様書

目　　次

第１編　共通編……787
　第１章　総則……787
第２編　材料編……823
　第１章　一般事項……823
　第２章　工事材料……826
第３編　森林土木工事共通編……860
　第１章　総則……860
　第２章　土工……868
　第３章　無筋・鉄筋コンクリート……883
　第４章　一般施工……912
第４編　治山防潮工等……1072
　第１章　築堤・護岸……1072
　第２章　堤防・護岸……1074
　第３章　突堤……1090
　第４章　離岸堤、潜堤……1100
　第５章　砂丘造成等……1104
第５編　渓間・山腹工等……1108
　第１章　共通施工……1108
　第２章　コンクリート工……1120
　第３章　渓間工……1121
　第４章　流路工……1134
　第５章　山腹工……1139
　第６章　地すべり防止工……1160
　第７章　なだれ防止林造成……1170
　第８章　森林整備……1174
　第９章　保安林管理道整備……1180
第６編　林道……1181
　第１章　林道……1181

第２章　舗装……1197
第３章　橋梁下部……1206
第４章　鋼橋上部……1220
第５章　コンクリート橋上部……1228
第６章　木造橋上部……1247
第７章　トンネル（NATM）……1249
第８章　道路維持……1263
第９章　雪寒……1286
第10章　道路修繕……1291

森林整備保全事業施工管理基準……1315
出来形管理基準及び規格値……1319
品質管理基準及び規格値……1487
森林整備保全事業工事写真管理基準……1561
工事写真撮影要領……1577